

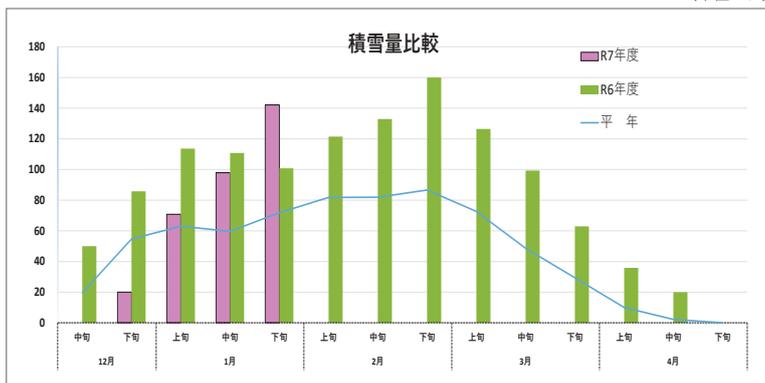


●りんご樹の雪下ろしを

J A相馬村管内における1月下旬の平均積雪量は**142cm**となっており、昨年と比べて**41cm上回っています**。大雪の際は、雪が新しく軽いつちに樹上の雪下ろしを行います。雪害の未然防止に努めましょう。

令和7年度JA相馬村積雪量調査

(単位：cm)



●腐らん病に注意



雪害による主枝の折損 (前年)

腐らん病については、薬剤防除だけに頼ることなく、粗皮削り等の耕種防除を併せて総合的に行うことが大切です。枝腐らんについては、剪定の際に徹底的に切り取りとるほか、剪定痕などの新しい傷口から侵入しやすいため、剪定によって生じた切り口には、その日のうちにバッチレート塗り、感染の防止とカルス形成の促進に努めましょう。尚、病原菌は外観上の病斑よりも先まで侵入してい



るので、切り取る際は健全部分を5cm以上含めて切り取り、病原菌が残らないようにしましょう。また、切り取る場合は、その後のカルス形成を良好にして枯れ込みを少なくするために、健全な芽(又は枝)のすぐ上で行いましょう。

胴腐らんについては早期発見に努めて被害部分の処置を行います。尚、塗布剤には、その有効成分が樹皮内部の深いところまで侵入するタイプと浸透しないタイプの2種類があるので、それぞれの特性をよく理解して間違いないように行いましょう。

◆トップジンMオイルペースト

本剤の有効成分は樹皮内部の深いところまで浸透します。病斑の境界部を確認し、内部の腐敗した



2種類の塗布剤

樹皮を削り取り、削り取った跡にはトップジンMオイルペーストを丁寧に塗布しましょう。尚、本剤は治療後のカルス形成を阻害する傾向が強いため、カルス形成が劣る衰弱樹は腐らん病治療には適さないとされています。また、本剤は耐性菌を生じやすい性質を持っているので、再発した場合はフランカットスプレー又はバッチレートによる治療を行ってください。

◆バッチレート又はフランカットスプレー

本剤の有効成分は樹皮内部に浸透していくので、病幹部だけでなく周辺健全部も丁寧に削り取った後から処理を行います(削り取った跡が紡錘形になるようにする)。(注) フランカットスプレーはカルス形成促進効果が期待できない。



作業性の良いフランカットスプレー

果実販売動向

販売課 田村 慎平



平素からJA相馬村フルーツ
テーションをご利用いただき誠に
ありがとうございます。1月の果
実販売動向をお伝えします。

イチゴについては各産地の1番
果が1月中旬にピークを迎えまし
た。クリスマス・年末の需要が高
まる時期には市場入荷量が伸びず
に12月は高値基調での販売でし
たが、1月に入ってから想定より
も入荷量が順調に増大していき、
それまでの流通在庫も抱えていた
ため荷動き重視で価格を下げての
販売となりました。

ミカンについては各産地着色・
作業遅れの影響から入荷時期が後
る倒しになり、例年になく市場で
越年在庫を多く抱えることとなり
ました。価格を下げたことにより
徐々に在庫は整理されていきまし
たが、売り場の切り替えが遅れ、
ミカン・柑橘類共に価格は下げ基
調での推移となりました。

リンゴについては各産地で年末
の贈答品対応から1月は海外輸出

中心の対応となり、国内市場へ出
回りにくい上位等級品の大玉には
引き合いが強く、小玉・下位等級
品に関しては引き合いが弱い二極
化の状況となりました。

全体的には、輸出対応のため市
場流通量は抑えられていました
が、その分、越年在庫の整理は進
み、特に流通量の少なかったサン
ジョナ・王林に関しては強い引き
合いが見られました。当農協でも
年明けから1月中旬までが台湾へ
の旧正月向け輸出の出荷ピークと
なり、サンふじ・有ふじ・金星等
を中心の出荷となりましたが、出
荷量としては前年より減となりま
した。

今後の展開につきまして、いち
ごについては例年2月頭から2番
果の出荷ピークが始まりますが、
1月後半は寒波の影響があったた
め2番果のピークが2月中旬から
下旬にずれ込む見込みです。その
ため市場への入荷が減少する時期
が発生しそうですが、1番果の在

庫を解消するために引き続き荷動
き重視で、価格は下げ基調での販
売となりそうです。

ミカンについては入荷量は減
少していきませんが、売り場も柑橘
類へと切り替わっていくため、引
き合いは弱く、価格はさらに下げ
ての展開が見込まれます。柑橘類
については伊予柑・八朔等潤沢な
入荷が見込まれており、売り場も
広がって順調な荷動きが予想さ
れます。

リンゴについては、年明けから
徐々に売り場は広がっているもの
の、2月中は柑橘類やイチゴが売
り場の中心となります。輸出対応
が落ち着き、国内出荷が増加する
見込みですが、需要はそれほど強
まらないと考えられます。

ただし、2月からは各量販店な
どで袋詰め商品・小箱商品など販
売アイテムの増加や特売・キャン
ペーンなどの企画が増えていくた
め、その面での荷動きは見込まれ
ます。当農協でも、これまでとは
違う新しい袋詰めの商品を増やし
ており、今後はそれら小箱・袋詰
めアイテムを中心に選果・荷造り
作業を行ってまいります。

全農あおもりデータ (1/27 累計)

品 種	つがる	早生ふじ	きおう	ト キ	王 林	名 月	サンジョナ	サンふじ	その他	合 計
単 価 (円)	3,690	4,286	3,535	3,435	4,044	4,131	4,071	4,523	4,062	4,070
前 年 比 (%)	124	102	109	99	93	94	88	93	96	101
販売数量 (箱)	519,850	495,030	115,747	194,229	167,519	184,755	112,979	1,008,609	377,874	3,176,592
前 年 比 (%)	70	100	99	96	99	94	94	88	64	88

※10kダンボール1箱当りの数値となります